

# 施策評価シート

評価年度	令和元年度	事業実施年度	平成30年度	施策主管次長名	教育部次長 山崎 正勝	
施策番号	58	施策名	文化・芸術に親しみ、育むまち		総合計画掲載頁	72
関係課名	教育行政課、生涯学習推進課					

## 1. 施策の概要

施策の目的	対象	対象指標名	単位	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
意 図	市民	人口	人	61,070	61,356	61,153	61,604	-
		成果指標名		文化・芸術の振興について満足と答えた人の割合				
				市民一人当たりの図書利用冊数				
				市民一人当たりの文化会館の年間利用回数				

## 2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	文化・芸術の振興について満足と答えた人の割合	%	70	34.6	70.0	36.4	70.0	-
	指標設定の考え方と把握方法	多様な文化の関心度合いの包括的指数をこの割合とし、「行政評価アンケート」から把握						
	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	市民一人当たりの図書利用冊数	冊	10.0	8.4	10.0	8.9	10.0	10.0
	指標設定の考え方と把握方法	豊かな知識を有した市民が多様な文化活動を展開している様子を表す指標とし、図書館で把握						
	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	市民一人当たりの文化会館の年間利用回数	回	4.0	4.5	4.0	3.7	4.0	-
	指標設定の考え方と把握方法	市民が文化活動に参加したかの具体的指数とし、文化会館の指定管理者が算定する。						
	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	指標設定の考え方と把握方法							

## 3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	市民は、自らの教養を磨くため図書館学習交流プラザや資料館を利用するとともに、各種の文化芸術活動に参加し、積極的に芸術鑑賞することで多様な文化活動の輪を広げる。			
	行政	行政は、生涯学習施設や発表会場などの文化芸術活動拠点を整備し、各種の文化芸術イベントを企画するとともに、市民の自主的な文化活動が活発になるよう支援する。			
達成度評価	近隣との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民一人当たりの図書利用冊数は、豊田市3.4冊、日進市7.5冊、豊明市6.4冊(各市町平成29年度実績)、みよし市8.4冊で平成29年度実績では一番高く、平成30年度実績と比較しても3市を上回っている状況である。</li> <li>市民一人当たりの文化会館の年間利用回数は、豊田市0.7回、日進市2.2回、豊明市2.2回(各市町平成28年度実績)で、みよし市は3.7回で近隣に比べ高い利用状況にある。</li> </ul>			
	過去3年間の実績との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・芸術の振興について満足と答えた人の割合は、平成27年度53.8%、平成28年度71.1%平成29年度34.6%と大きな増減となっていたが、平成30年度は36.4%と前年度比微増となった。</li> <li>市民一人当たりの図書利用冊数は、平成27年度5.0冊、平成28年度は新図書館が7月開館のため6.4冊でしたが、平成29年度は8.4冊、平成30年度は8.9%と年々増加している。</li> <li>また、市民一人当たりの文化会館の年間利用回数は、平成27年度3.3回、平成28年度4.1回、平成29年度は4.6回と増加してきたが、平成30年度は3.7回で平成27年度と同程度に岩礁している。</li> </ul>			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・芸術の振興について満足と答えた人の割合は、34.6%あり、前年度の71.18%と比べ36.5ポイント低下している。これは、図書館学習交流プラザが平成28年7月にオープンし、市民の満足度が一時的に満足された反動と思われる。</li> <li>文化会館の利用状況は、近隣と比較して高い状況であるが、施設は建設後20年以上が経過し経年劣化に伴う不具合が発生し、今後長年に渡る改修が必要である。</li> <li>図書館学習交流プラザ内に新図書館がオープンし利用冊数が旧図書館の約2倍となった。今後もこの状況を維持するため、生活に関する一般図書を中心に、蔵書の充実と利用者増に向けた企画の実施が重要となる。</li> </ul>				
課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>(今後の取組の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化会館の指定管理者に民間企業の特性を活かした自主文化事業をより充実した内容となるよう調整する。また、文化活動発表の機会の確保として文化展や芸術発表などの事業を実施する。なお、利用者が安定的に利用できるように経年劣化した施設の改修整備を進める。</li> <li>図書館学習交流プラザでの計画的な図書の購入と、図書館講座や企画展示の開催をとおし本への関心を高める。また、おはなし会の開催や図書館支援団体の育成を行い、年少者の利用増を図る。さらに対面朗読サービスを開始し利用者の利便性を向上させる。</li> <li>雑誌スポンサー制度の推進による雑誌の種類を増やるとともに、市民の憩いの場としての空間を目指す。</li> <li>図書館学習交流プラザでの各種生涯学習講座の開催や図書の購入、企画展示及び窓口サービスの充実に加え、本市のPR・生涯学習講座の紹介や資料館・石川家のPR等を総合的にシティープロモーションとして来館者に伝える。</li> <li>図書館学習交流プラザ、歴史民俗資料館、勤労文化会館などで体験イベントを行い、市民に文化・芸術に関心を持ってもらう。</li> </ul>				
市民意識	重要度	低い	満足度	低い	平成30年度市民アンケート調査による